

議会だより



なかさつない



息をあわせて、みんなでジャ～ンプ！（中札内中学校体育祭より）

6月定例会 p 2～4

○平成29年度一般会計・簡易水道事業特別会計 補正予算

○委員選任・任命同意 ○工事請負契約の締結 など

第2回臨時会、第3回臨時会 p 4～6

村理事者 退任・就任挨拶 p 6

議員視察・研修、お知らせ、編集後記 p 7～8

6月定例会開会

農業委員会委員の任命同意、財産の取得・工事請負契約の締結など議案26件を原案可決

平成29年6月議会定例会

中札内村6月議会定例会は6月20日に招集され、会期を27日までの8日間とし、意見書1件、報告1件、承認1件、議案26件を審議し、原案を可決しました。また、請願1件を産業文教常任委員会に、陳情3件を総務厚生常任委員会に付託し、審査しました。再開の27日には、意見書案3件を審議・可決し、閉会しました。

予算の専決処分

◆平成29年度中札内村
一般会計補正予算専
決処分承認

村議会議員補欠選挙実施のため、必要経費の手当、需用費、消耗品等総額84万8千円の増額補正をする必要があります。議決を得る時間的余裕がなかったことから、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分がされた

ものです。

原案通り承認

固定資産評価審査委員会

委員の選任同意

現委員が8月9日を

もって任期満了となることから、新たな委員の選任について同意しました。

農業委員会委員の

任命同意

現委員が7月19日をもって任期満了となる

ことから、新たな委員13名の任命について同意しました。

辺地計画

◆元更別辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
◆南常盤辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について
◆西札内辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について
◆西戸蔦辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について

大規模草地育成牧場の新牛舎整備における付帯施設整備の財源として辺地債を充当するため、辺地総合整備計画の策定及び変更を行なおうとするもので、北海道知事との協議が整ったことから、議会の議決が求められるも

財産の取得

◆農村情報防災行政無線戸別受信機購入業務

のです。これにより充当が見込まれる財源額は、2640万円です。

原案通り可決

工事請負契約の締結

◆中札内浄化センター監視制御設備更新工事

平成30年2月28日までの工期で、北海道三菱電機販売株式会社と、6642万円で工事請

負契約を締結することを可決しました。
(問)当初予算で予定していた9200万円分の全工事が行われないうが、残りの更新工事はどのように進められるのか。

(答弁)国庫補助金の確定が、要望した額での配分に至らず、返送流量計とポンプ更新工事の実施は来年度へ見送った。今年度の国庫補助金執行残などにより追加配分が受けられれば、年度内に実施したい。



機器類の更新期を迎える中札内浄化センター

補正予算

川越アンテナショップ売場面積増への 対応など追加補正予算を可決

補正予算

歳入・歳出それぞれ
一般会計補正予算で2
701万4千円、簡易
水道事業特別会計で4
80万7千円の増額補
正がされました。

その主な内容と質疑
を掲載します

一般会計

歳出

市町村交流事業費

◆アンテナショップ運 営委託料

300万7千円

◆アンテナショップ物 品借上料

152万4千円

川越市アンテナショ
ップの売場面積増加へ

の対応で、販売員1名
を2名に増やすため運
営委託料を、また、商
品保管用冷凍冷蔵ケー
スを増設するため、物
品借上料を追加するも
の。

(問) 広い売場になっ
た理由は。また、アン
テナショップの運営状
況はいかがか。

(答) 丸広百貨店の
配慮により、エレベ
ーター付近への移転の提
案があり、それに対応
する。オープン当初と
フェアの開催時は多く
のお客様に来て頂いて
いる。今後も丸広百貨
店と販売委託先との連
携を密にし、中札内の
魅力発信に努めたい。

財産管理費

◆土地購入費

842万8千円

大通北2丁目国道沿
いの宅地を購入するた
め、土地購入費を追加
するもの。

牧場管理費

◆機械借上料

293万8千円

65万1千円

◆補修用材料費
昨年台風と春先の
融雪水の影響で損傷し
た西札内ほか2牧場の
草地及び牛道補修のた
め、機械借上料、補修用
材料費を追加するもの。

(問) 今年の牧場の夏
季放牧頭数が234頭
ほど減少しているが、

草地の補修などが原因
しているのか。

(答) その理由では
なく、経営転換や病気
などによる減少と捉え
ている。

道路維持費

◆廃棄物処理処分委託 料

19万7千円

(問) どのようなもの
を廃棄するための追加
補正なのか。

(答) 冬季間に散布
した滑り止め用砂の量
が多かったなど、道路
清掃による廃棄物の量
が増えたことによる。

河川管理費

◆機械借上料

81万7千円

◆河川護岸復旧工事
176万9千円
昨年台風と春先の
融雪水の影響で損傷し
た新岩内川ほか2カ所
の護岸修復を行うため、
河川護岸工事費を追加
するもの。

◆定住促進補助金の若
年世代特別奨励金を、
これまでの実績と今後
の見込みにより追加す
るもの。

教員住宅管理費

◆修繕料

107万1千円

上札内小学校校長住
宅とひばりヶ丘教員住
宅などの修繕費に不足
を生じるため、教員住
宅修繕料を追加するも
の。

定住対策費

◆定住促進補助金

150万円

(問) 興農区の教員住
宅の庇(ひさし)の下
がりが直っていないが、
この修繕も見込んでの
予算追加なのか。

(答) 教員住宅の整
備計画で、興農区の教
員住宅は建替えとして
おり、入居に支障のな
い修繕については当分
の間保留したいとの考
えから、庇(ひさし)
修繕は見込んでいない。



築後年数が長く建替計画中の教員住宅

歳出

受水費

◆十勝中部広域水道事業団負担金 782万8千円

昨年、台風の影響による水道企業団からの全量受水が6月まで継続となったこと、札幌内川畑かん施設導水管入替え工事に伴う畑かん施設への水の供給のため、水道企業団からの受水量が増えることから、十勝中部広域水道企業団負担金を増額するもの。

◆簡易水道事業基金費 ▲302万1千円

受水負担金の増加に対応する財源調整のため、簡易水道事業基金積立を減額するもの。

意見書

◆林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書

北海道における植林・間伐や路網の整備、山地災害の防止、木造公共施設の整備や、国における市町村主体の新たな森林整備を進める財源確保のための「森林環境税（仮称）」の創設に向けた検討などの取組みをさらに加速し、地域の特性に応じた森林の整備を着実に進めるとともに、森林資源の循環利用による林業・木材産業の成長産業化を実現するための施策の充実・強化を強く要望する。

提出者 中井 康雄

陳情

◆地方財政の充実・強化を求める意見書の採択を求める要請書

社会保障、災害対策、環境対策、地域交通対策、人口減対策など、増大する地方自治体財政需要を的確に把握し、これに見合う地方一般財源総額の確保を図ること、地域間財源偏在性の是正のための抜本的な解決策の協議などの地域財政の充実・強化について要請する。

提出者 中札内村地区連合会

◆平成29年度北海道最低賃金改正等に関する意見書の採択を求める要請書

雇用戦略対話及び北海道地方最低賃金審議会の合意に基づき、早期に全国最低800円を確保することと平成32年までの全国平均1,000円への到達の実現、キャリアアップ助成金の有効活用による最低賃金の引上げや、中小企業に対する支援の充実と安定した経営のための実効性のある対策を国に対して要請する。

提出者 中札内村地区連合会

請願

◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、教職員の超勤解消と「30人以下学級」の実現、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた請願

義務教育費国庫負担制度の堅持、負担率2分の1への復元や「30人以下学級」早期実現のための学級編成標準の順次改定や教職員定数改善の実現、教材費などの保護者負担の軽減や図書費などの国の責任における予算の確保、就学援助制度・奨学金制度拡充のための教育予算の確保・拡充を図るよう強く要望する。

提出者 中札内村地区連合会

意見書・請願各1件、陳情2件は採択となり、同趣旨の意見書を関係大臣並びに関係機関に提出しました。

第2回臨時会

平成29年第2回議会臨時会は、5月16日(火)に開会し、1日の会期で承認2件、議案4件を審議し、原案を可決して閉会しました。

予算の専決処分

◆平成28年度中札内村一般会計補正予算の専決処分承認

特別交付税が災害関連で42%以上の増額となったことから、庁舎整備基金に5000万円を積立てる補正と、畜産クラスター事業による牛舎建設に係る交付金が、事業主体である酪農クラスター協議会を介した事務処理が必要であり、協議会との歳入・歳入事務処理のための予算を交付金と同額の1億95万7千円を補正する必要がある。

国保保険制度運営主体が中札内村から北海道に移行されるに伴い、一般会計からの赤字補填や繰越金が多額なことが、標準保険税率が急激に上昇することを抑制する激減緩和措置にマイナスに影響するとされていることから、歳入歳出が確定したことからにより支出不用額などを整理し、繰越金を抑制することや基金積立を行うための補正を行うものですが、議決を得る時間的余裕がなかったことから、地方

り、議決を得る時間的余裕がなかったことから、地方自治法第179条第1項の規定により専決処分がされたものです。

原案通り承認

◆平成28年度中札内村国民健康保険特別会計補正予算の専決処分承認

国保保険制度運営主体が中札内村から北海道に移行されるに伴い、一般会計からの赤字補填や繰越金が多額なことが、標準保険税率が急激に上昇することを抑制する激減緩和措置にマイナスに影響するとされていることから、歳入歳出が確定したことからにより支出不用額などを整理し、繰越金を抑制することや基金積立を行うための補正を行うものですが、議決を得る時間的余裕がなかったことから、地方

自治法第179条第1項の規定により専決処分がされたものです。

原案通り承認

条例の改正

◆中札内村村税条例等の一部改正

地方税法等が一部改正され、個人住民税の肉用牛売却による事業所得に係る課税特例適用期間の延長及び固定資産税におけるわがまち特例(※1)の導入、地方消費税率引上げ時期の延期による軽自動車税におけるグリーン化特例(※2)適用期限の2年延長などにより、村税条例の一部を改正するものです。

(問) 村民税の文言改正で、「控除対象配偶者」が「同一生計配偶者」に改正されるが、これ

まで別居でも該当したものが同居でなければ該当しなくなるのか。

(答弁) 名称が変更になるだけで、制度上の取扱いが変わるものではない。

(問) わがまち特例では、中札内村は上限の税

率を適用するの。(答弁) これまでの国の定めと同じ減税率2分の1としている。

原案通り可決

◆中札内村国民健康保険条例の一部改正

地方税法施行令の一部改正で、低所得者に係る軽減措置の拡充が行われたことにより、本条例の一部を改正するものです。

(問) 改正による軽減措置で、対象者数と減税額はどの程度になるか。と見込んでいるのか。

(答弁) 確定している平成27年度収入で試算すると、対象者は2名で10万円程度の減税になる。

原案通り可決

(※1)

わがまち特例

固定資産税に係る課税標準の特例及び税額の減額特例のうち、その一部において、軽減割合を一定の範囲内で地方自治体が自主的に判断し、条例で決定できるようにする仕組み。

(※2)

グリーン化特例

自動車の燃費基準などの環境負荷に応じて、自動車税の税率を軽減又は重課する特例措置の仕組み。

補正予算

◆平成29年度中札内村一般会計補正予算

コミュニティ活動費

(コミュニティ助成事業補助金)

680万円

自治総合センター助成事業の680万円の補助決定を受けて、村を介して同額の補助を行うもの。

(問) ときわ野行政区集会場への補助だが、



完成間近のときわ野行政区集会場

周辺で除草作業などを行っている方々へのトイレの開放は検討されているのか。

(答弁) トイレの一般開放については、行政区への要請を行っていない。

文化振興費

(文化振興奨励事業補助金)

200万円

村民の自主的文化的事業の増加に対応するため増額するもの。

(問) 見込まれている具体的な文化事業の内容は。

(答弁) これまで決定している事業のほか、オープンガク堂中札内実行委員会が実施しようとしている名作文学の語り劇とクラシック音楽演奏事業の申請が見込まれる。

公共土木災害復旧費

(工事請負費)

1587万円

人件費の高騰や工事の一部前倒しのため増額するもの。

(問) 工事の一部前倒しにより開通時期が早まるのか。

(答弁) 橋台部分の工事を一部前倒しして行う。工期は天候等にも左右されるが、少しでも早く開通できるように進めたい。

原案通り可決



復旧工事が着手される被災した戸蔭大橋

第3回臨時会

平成29年第3回議会臨時会は7月6日(木)に開会し、1日の会期で議案3件を審議し、原案を可決して閉会しました。

副村長の選任同意

新たな副村長の選任に山崎恵司氏が提案され、同意しました。

工事請負契約の締結

◆村道西戸蔦・東戸蔦38号道路戸蔦大橋災害復旧工事請負契約の締結

平成30年10月30日までの工期で、永井工業株式会社と、1億5282万円で工事請負契約を締結することを可決しました。

◆大規模草地育成牧場牛舎建設及び付帯施設改修工事請負契約の締結

平成29年12月15日までの工期で、藤原工業株式会社と、2億5444万8000円で工事請負契約を締結することを可決しました。



頭数増加に対応するため増設される大規模草地育成牧場

新旧村理事者 定例会・臨時会で挨拶

田村村長・火山副村長

退任挨拶

6月27日の6月定例会最終日に、29日で任期満了を迎える田村村長と7月3日で任期満了を迎える火山副村長から退任に当たっての挨拶がありました。

挨拶する田村前村長



任施策を柱に大きなトランプルもなく運営でき、ありがたく思っている。」

火山副村長からは、「田村村長の補佐役として村づくりに関わられ、至福の喜びだった。自律に向けた村づくりという大きな岐路や地方創生の具現化など、あつという間に時が過ぎたように感じているが、今は充実感で満たされている。」と述べられました。



挨拶する火山前副村長

森田村長・山崎副村長
就任挨拶

7月6日の第3回臨時会において、新たに村長に就任した森田村長と副村長に就任した山崎副村長から挨拶がありました。

挨拶する森田新村長



の声を聞く。このことの重要性を再認識した。中札内村で暮らし、働くこと、そして出身であることを誰もが誇りに思える村づくりを進めたい。」と、今後の村政運営にむけた抱負が述べられました。

山崎副村長からは、「森田村長が目指す10年先の未来を見据えた元氣な村づくりの実現のため、十分に意思疎通を図り、微力ながら最善を尽くす。村民の目線に立った協働の村づくりに努力したい。」と決意を述べられました。



挨拶する山崎新副村長

議員視察・研修

十勝町村議会議長会
行政視察

被災地の実態から学ぶ

①参加者

議長 高橋和雄

②日時

平成29年4月17日

～4月19日

③場所

筑波宇宙センター

防災科学技術研究所

常総市役所

水戸市役所

④目的

昨年の8月に、4つの台風が北海道へ上陸又は近くを通過したことで、十勝地方は未曾有の被害を受けました。この事を踏まえ、住民が「まさかに備え、いざという時に行動できる」安心・安全の地域づくりの参考に資するため、「平成27年9月関東・東北豪雨被害」を受けた茨城県常総市

などを視察しました。

⑤視察概要

○筑波宇宙センター

JAXAが推進する人工衛星の開発や宇宙飛行士養成など、日本の宇宙開発の役割を担っています。大樹町の宇宙航空基地誘致の実現にむけて、十勝一丸となって活動して行かなければなりません。

○防災科学技術研究所

「平成27年関東・東

○常総市役所

「平成27年9月鬼怒川堤防決壊災害」の状況や復旧にむけた経過

などの説明を受けました。その時の失敗や成功事例から各自自治体に「伝えたいこと」として、災害発生前後の混乱は想像を絶すること、混乱の中で組織と個人が試される

北豪雨災害」や「平成28年台風10号北海道東北被害」で現地入りし、災害対応の助言や情報提供等を行っています。その中で、災害対応の課題を整理し、自治体における防災計画やマニュアル作成に協力しています。



参加した十勝管内議長と～JAXAにて

こと、大量に発生した災害廃棄物処理などについて学びました。



災害廃棄物の仮置き場となった野球場
公共施設の多くが災害廃棄物で埋め尽くされた

いる訓練を実施しています。

北海道町村議会議長会
議員研修会

現在の日本の経済・政治状況について学ぶ

⑥まとめ
災害による大きな被害を受けた自治体では、防災・減災にむけての取組みは真剣かつ充実している感じを受けてきましたが、そこには、防災や減災に専門的に取組んでいるスタッフ

7月4日に、北海道町村議会議長会主催の議員研修会が札幌市で開催され、議員7人が参加しました。

が配置され、それに要する十分な予算も確保されており、自治体の規模によってもその扱いは大きく違うようです。十勝において、これらのスタッフの協力を得て、防災や減災に関して学ぶ機会を設けることも必要ではないかと思えます。災害に備える訓練等も必要不可欠ですが、実際に体験した人から話を聞くことも個々の防災や減災の意識改革に繋がると確信してきました。

研修会では、慶應義塾大学経済学部教授の金子勝氏から「トランプ政権と日本経済―地域経済への影響は?」、日本放送協会解説副委員長の島田敏男氏から「日本経済の昨日・今日・明日」と題した講演を拝聴しました。

た。その時の失敗や成功事例から各自自治体に「伝えたいこと」として、災害発生前後の混乱は想像を絶すること、混乱の中で組織と個人が試される

○水戸市役所
東日本大震災での災害を教訓に、市民自身が自分を守るための啓発のため「水戸市いっせい防災訓練」を実施しており、安全行動、避難情報の発信、家庭や事業所の備蓄点検、家族等との災害時の連絡手段の確認など、日本最大規模といわれて



金子先生の講演の様子

**総務
厚生**
常任委員会

所管事務調査

防災対策について

十勝管内清水町を

調査視察

7月20日に、総務厚生常任委員会は、中札内村の今後の防災対策研究の参考とするため、十勝管内清水町の視察調査を行いました。
昨年8月の台風10号により大きな被害を受



今も爪あとを残す被災現場



復旧作業を終えている
J R 石勝線鉄橋

議員活動・研修

けた清水町で、被災時に執った具体的行動と防災計画やマニュアルでは予測できなかった実態や課題と被災経験から学んだことを防災計画の見直しの中で、どのように反映しているかについて説明を受けました。

庁舎で説明を受けた後、被災現場や復旧状況を視察し帰村しました。

5月以降の主な活動状況です。

◆商工会総会

5月17日

◆札内川園地安全祈願祭

6月1日

◆中札内消防団消防演習

6月2日

◆全道議長研修会（札幌市）

6月13日

◆平和祭

6月15日

◆やまべ放流祭

7月2日

◆南十勝地域消防防災合同訓練（中札内村）

7月19日

◆南十勝議員交流会（広尾町）

7月21日

◆戦没者合同法要

7月21日

◆商工会員との交流懇談会

7月23日

議員の欠員について

森田匡彦議員の辞職に伴い、村長選挙と同時に議員補欠選挙が実施されましたが、6月13日の告示日に立候補の届出はなく欠員となり、平成31年4月30日までの現議員任期中は7名の議員で議会を運営していくことになりました。

6月定例会開会の冒頭で、高橋議長が「補欠選挙では残念ながら立候補者がおらず、7人の議員で残り2年間の議会運営を進めることになった。一人ひとりの責務は大きくなる。」と述べました。

全国的に議員のなり手不足が深刻な状況にあるとされており、浦幌町では議員のなり手対策のため、議員活動の広報や報酬額の見直しなどの議会活性化に取り組んでおり、十勝町村議会議長会からは、国の責任においても地方議員確保の対策を行なうよう、北海道町村議会議長会総会で要望書を提起しています。

広報委員長だった森田議員が村長に就任し、代わりに黒田議員が広報委員に補選され、新たに中西議員を委員長としたメンバー4名で議会だよりを発行していきます。さらに研鑽し、見やすい広報づくりに努めます。

森田村政は6月30日から始動し、若さと行動力、住民対話を柱に今後の村づくりに邁進することと思います。

～お知らせ～

次の定例会は9月です！

主な内容は一般質問と議案審議で、平成28年度決算認定についても審議する予定です。村民みなさんの傍聴をお待ちしています。

また、インターネットによる議会中継を実施していますので視聴ください。視聴方法は、村ホームページ内「議会中継」をクリックしてください。

編集後記

広報委員長だった森田議員が村長に就任し、代わりに黒田議員が広報委員に補選され、新たに中西議員を委員長としたメンバー4名で議会だよりを発行していきます。さらに研鑽し、見やすい広報づくりに努めます。

森田村政は6月30日から始動し、若さと行動力、住民対話を柱に今後の村づくりに邁進することと思います。

我々議員も村民皆様の声を聞き、議会の場で発言していきますので、今後多くの声をお寄せください。
今年春先から天候に恵まれ、作物の生育は順調で、豊稔の秋が期待できそうです。

(宮部)